

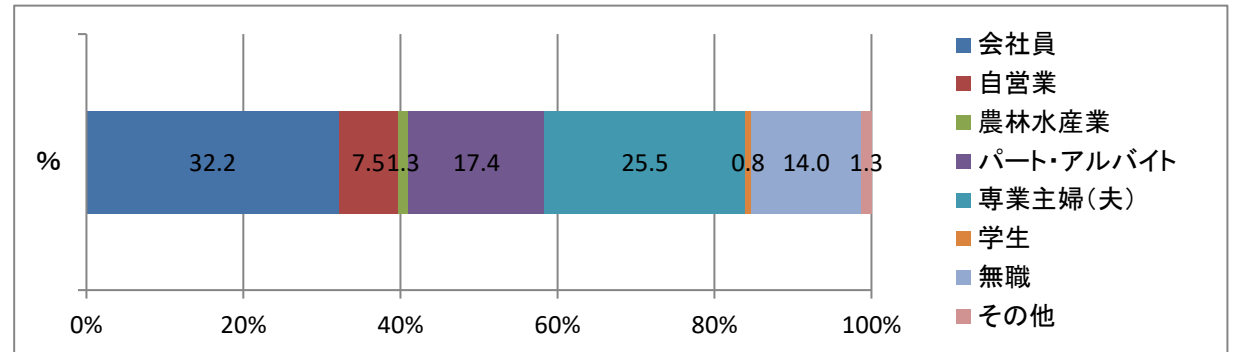
ヘルプマークについて

- 調査期間 平成29年6月12日～平成29年6月21日
- 調査の趣旨 ヘルプマークなどの周知度について、皆様の意見をお聞きます。
- 対象者数 603 人(平成29年6月12日現在)
- 回答者数 478 人
- 回答率 79.3 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

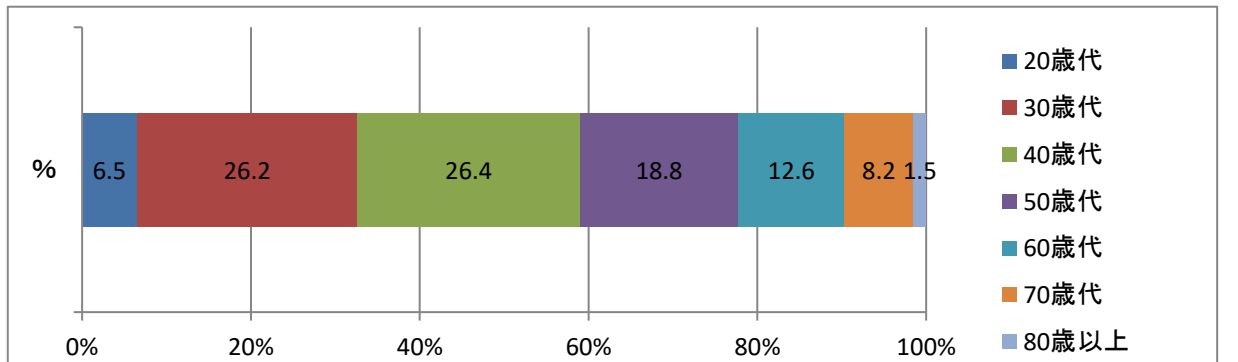
【職業】

内訳	人数	%
会社員	154	32.2
自営業	36	7.5
農林水産業	6	1.3
パート・アルバイト	83	17.4
専業主婦(夫)	122	25.5
学生	4	0.8
無職	67	14.0
その他	6	1.3
合計	478	100.0



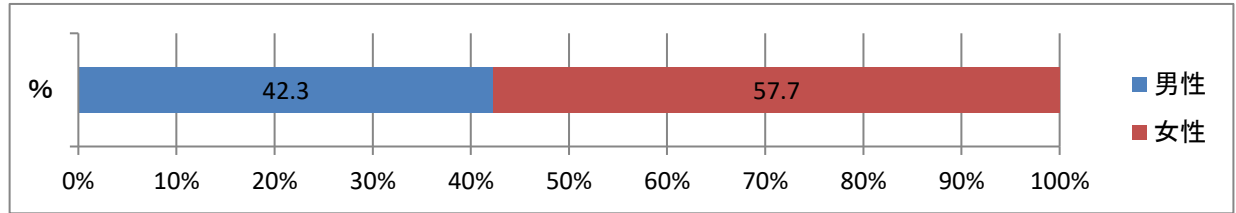
【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	0	0
20歳代	31	6.5
30歳代	125	26.2
40歳代	126	26.4
50歳代	90	18.8
60歳代	60	12.6
70歳代	39	8.2
80歳以上	7	1.5
合計	478	100.2



【性別】

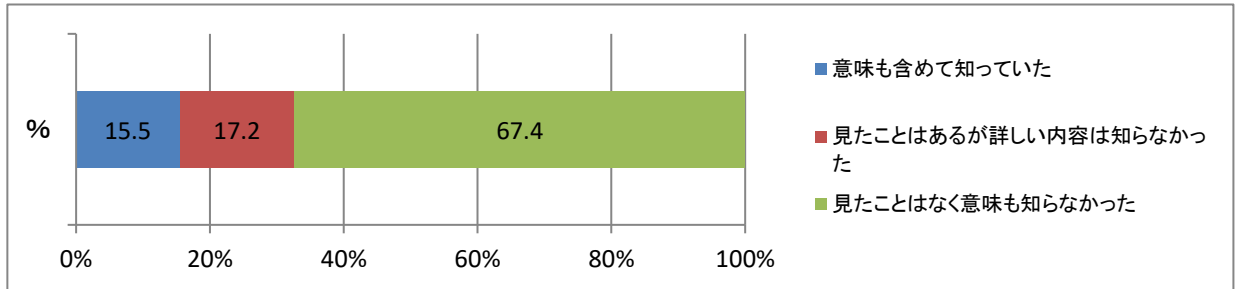
内訳	人数	%
男性	202	42.3
女性	276	57.7
合計	478	100.0



○ヘルプマークとは義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からはわからない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう手助けするのが「ヘルプマーク」です。

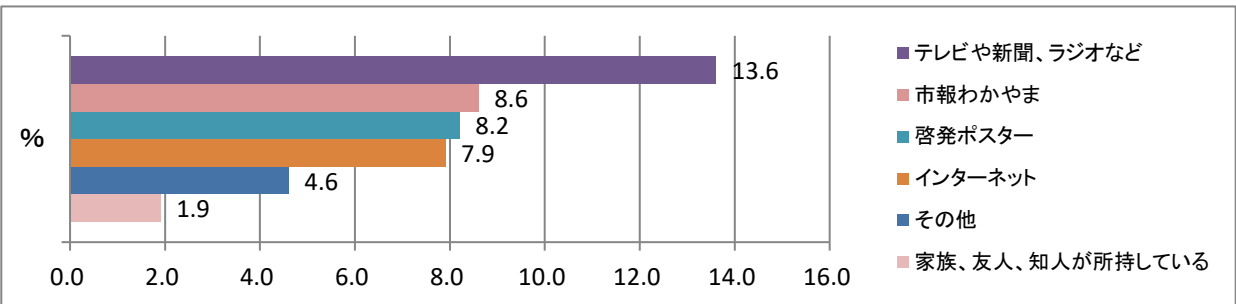
【問1】あなたは「ヘルプマーク」を知っていましたか。

内訳	人数	%
意味も含めて知っていた	74	15.5
見たことはあるが詳しい内容は知らなかった	82	17.2
見たことはなく意味も知らなかった	322	67.4
合計	478	100.1



【問1-1】問1で「意味も含めて知っていた」、「見たことはあるが詳しい内容は知らなかった」と答えた方にお聞きます。ヘルプマークをどこで知りました(見ました)か。

内訳	人数	%
テレビや新聞、ラジオなど	65	13.6
市報わかやま	41	8.6
啓発ポスター	39	8.2
インターネット	38	7.9
その他	22	4.6
家族、友人、知人が所持している	9	1.9



【問1-2】「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。

応援したいと考え、障害支援課と、打ち合わせ継続中です。

付けている人を見た事がある。

職場

家族に医療系で勤務してる人がいるので知ってます。

駅チラン

友人の市議のSNSにて紹介されていた。

このアンケートで知った。

まちを歩いていて見たことがあるが場所は覚えていない。

フェイスブック

所持をしていないが、身体に障害がある家族がいるので。

街中で見た。

職場研修

消防等の講習

子どもの小学校

どこかの講座で聞いた記憶があります。

どこかで見た覚えのあるマークだが、場所は覚えていない。(和歌山市役所か市報わかやま?)

電車の中で、妊婦さんが付けていました。

どこでみたかわからない。

電車の中

自分が所持している。

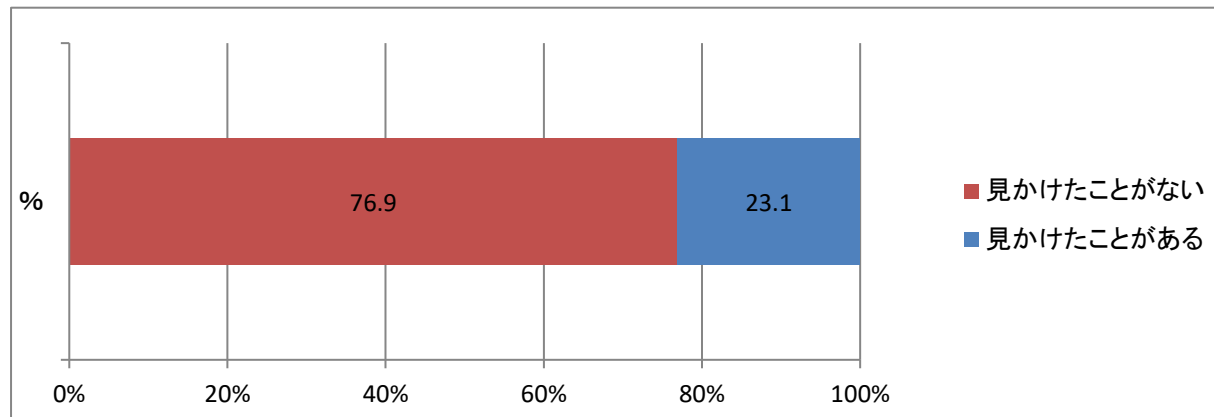
学校

【問1-3】

問1で「意味も含めて知っていた」、「見たことはあるが詳しい内容は知らなかった」と答えた方にお聞きします。ヘルプマークを携帯している人を見かけたことがありますか。

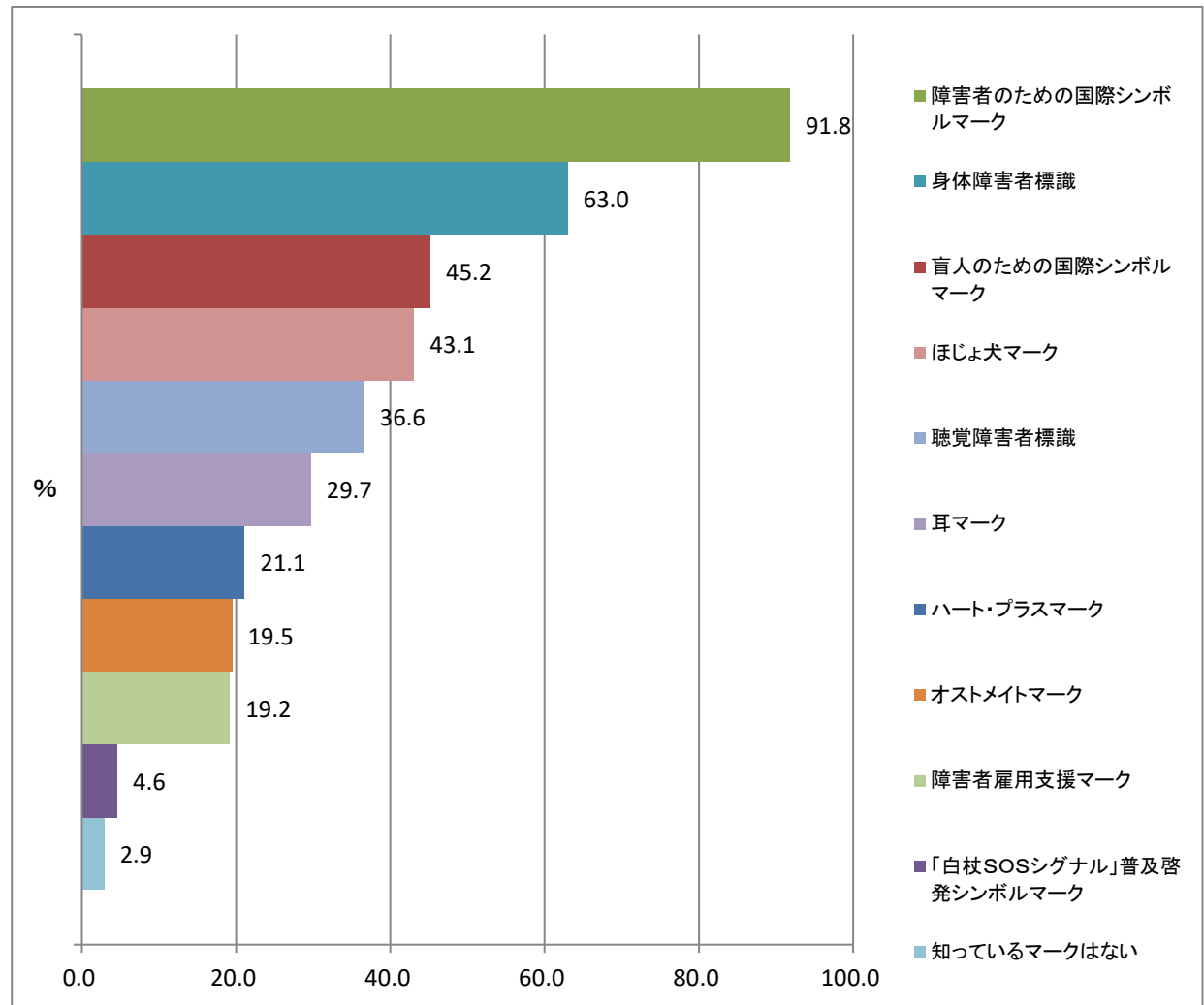
該当者156名

内訳	人数	%
見かけたことがある	36	23.1
見かけたことがない	120	76.9



【問2】 ヘルプマーク以外で知っているマークを教えてください。

内訳	人数	%
障害者のための国際シンボルマーク	439	91.8
身体障害者標識	301	63.0
盲人のための国際シンボルマーク	216	45.2
ほじょ犬マーク	206	43.1
聴覚障害者標識	175	36.6
耳マーク	142	29.7
ハート・プラスマーク	101	21.1
オストメイトマーク	93	19.5
障害者雇用支援マーク	92	19.2
「白杖SOSシグナル」普及啓発シンボルマーク	22	4.6
知っているマークはない	14	2.9



【問3】 ヘルプマークに関するご意見などありましたら、ご記入ください。

子どもには教育機関で、大人には免許更新や役所の待ち時間に読めるポスターなどで啓発してはどうか。

見たことがないマークが多いのに驚きました。一般に周知が必要かも。

まだまだ一般に広がっていない。催事、イベント等でのアピールも必要！！

説明がないとなかなかわかりにくい。もっとPR活動が必要だと思う。

子供から(小学校)徹底させたらどうかと思いますが。

認知度が低いものも多いと思うので、まだまだ発信が必要かと思いました。

マークばかり増えても、その意味が周知されていなければ正しいサポートはできません。「このマークをつけている人にはこんなサポートをしてあげてください」という教育が必要だと思います。特に飲食店や宿泊施設のスタッフを対象とした勉強会を開催していただけると良いのではないかと思います。

もっと周知広告が必要かと！

今まで勉強不足で知らなかったマークも有ったので、地区の回覧板等でも定期的に知らせてはどうでしょうか。(何年かに一回でも)

このアンケートで知りました。メディアやイベントなどでの積極的なPRがあればもっと認知されるかと思えます。

知らない方も多いと思えます。もっと啓発をお願いします。

あまり普及していないように思うので、もっとみんなが知るようにいろいろな場面でPRしていけばいいと思う。

先日、保健所でヘルプマークを貰い、鞆につけていたところ、行く先々で「これは何ですか？」と訊ねられました。みな見たことがないのです。見たことがないということは意味も知らない訳で、これではヘルプマークを身につけている意味がありません。さらに周知徹底をお願いしたいです。

あまり広報されていないように思います。

見たことがあってもその本来の意味を知らない人や、マークを悪用している人がいるので、もっと意味を広めるのと同時に、マークを持つ時に審査が必要などあるといいと思う。(例えば、近くに駐車したいがために、車に障がい者マークを付けているなど)

知らないものが多い。広報に努めるべきでは。

ヘルプマーク、今回のアンケートで初めて知りました。ネットで調べるとヘルプマークストラップを配布する自治体もあるようですが、配布に関して、健常者が悪用しないような配布方法が必要だと思います。また、ヘルプマークの認知度をあげるキャンペーンも必要だと思う。

見る機会がないのでどこかテレビなどで広報してほしい。

ヘルプマークを知らなかったのもっとみんなに広めてほしいです。

ヘルプマークについて理解を広めるために、広告を出し意味や内容について広めていくべきだと思う。

普段あまり見かけませんが、駅などでの啓発活動も必要かもわかりません。地域の回覧板などでの紹介等も良いかも知れません。

もっともっと広めるべきマークだと思います。

CMを流すなどして認知度を上げたいと思う。

いずれのマークも見たことが有るような気がするが、内容については知らない。これは殆どの人が同じような感じであろうと思う。知らせる側に問題があるのではなからうか？

恥ずかしいですが、問2のマーク複数知っているが、ヘルプマークは知らなかった。自分以外にも知らない人はたくさんいると思うので、大事なマークだから周知できるような方法をとって欲しい。

通常目にするのが非常に少なく、又広報も少ない為に一般周知は少ないのではないのでしょうか。

ヘルプマークを知らない人も多いと思うので、もっと皆が知る事ができるようすべきかと思えます。

健常者が意識して住みやすい環境をつくるべき。ヘルプマークの普及をしなくてはならないと感じる。

駅など啓もう用に各標識の説明を書いたお知らせを貼ってくれと、市民に浸透しやすいと思えます。

ヘルプマークに関しては全く知りませんでした。国や自治体などでの啓蒙活動がもっと必要だと思われまます。一部知っているでは意味がなく、全員知っていて初めてマークの意味があるからだと思えます。

市・県が中心になり広報紙等でPRがもっともっと必要では？公務員の怠慢が見られます。

マークそのものの種類が増えているのは良いことですが、そのマークに対する啓発が少なく思う。その為実際にヘルプマークをつけていても何ら配慮を受けることがない。もう少しみんなに知ってもらえるよう広報活動をして頂けるといいと思います。

認知度が低い気がします。

ヘルプマークを付けている位置が目につきやすい場所につけなければ、外見では気づいてもらえない場合があるのでは。又、まだまだ広く知られていないように思います。今回のアンケートを通じて、ヘルプマークについての知識に乏しいことを実感した。行政機関として市民への周知に努めてほしい。

意思表示としては有効だが、認知度が低すぎて現状効果は低いと思う。

まだまだ認知度が低いので、もっとみんなに知ってもらう必要がある。また、具体的にどういう風に行動を起こせばいいのか等わかり辛いので、教えて欲しい。

もっと大々的に宣伝したほうがいいと思う。

私が知識不足なのかもしれませんが、もっとマークの意味について広報が必要ではないでしょうか。

ドラマとかで自然に出てきたら、たくさん周知されるんじゃないかな。

認知活動不足以外なものでもない。

まだまだ認知度が低いと思うので、各家庭に一覧を配るぐらいに積極的に覚えてもらうべき。

今回、様々なヘルプマークがある事を知りました。今後、市報などで採り上げて掲載してみたらもっと多くの人に浸透していくのではないのでしょうか？

町中で見かけたことがないです。まだまだ周知されていないのかなと思います。

あまり知られていないのが多いのでしょうか。自分の認知不足なら申し訳ありません。

もっと街に浸透してほしい。

もっと知らせるようにしないとイケませんね。広報が不足していますね。

もっと積極的に告知すべきだと考えます。

下敷きにヘルプマークとその意味などを印刷して子供に配布すれば、親に伝わり多くの人を知るのではないのでしょうか？配布時にヘルプマークの人がいたらどうすればいいかなども伝えて。

ヘルプマーク知りませんでした。市報にのっていたのでしょうか。ヘルプマーク以外のものもほとんど知らなかったの、特集記事などで掲載してほしいです。

市報とか年一回発行される冊子の裏表紙とかに見える所で掲載したら、ヘルプマークの存在を知ってもらえるんじゃないですかね？意外と中身は見る人が見たいとこ調べたいとこしか見ないでしょうし、裏表紙なら何がなんでもみると思いますし。

ヘルプマークというせっかく素晴らしいマークがあるのに、知らなかったのが残念。もっと、周知が広まるのを希望します。

今回のアンケートで初めてヘルプマークを知りました。恐らく私の周りでの認知度はかなり低いと思われます。広く認知されるようになるには月一の市報わかやまや駅のホーム等人目につくことが大切かと思えます。

とても大切なことだが、あまり認知されてないと思えます。もっと市としてアピールした方がよいのでは。

知ることで弱者に対する接し方が違ってくる。マークの広報をお願いしたい。

ほとんどと言うか全然知りませんでした。見かけた事も無くもっと市民に積極的にアピールする方がいいのでは無いかと思えます。他のマークも知らないのが多く同じくアピールする方がいいと思えます。

ヘルプマークの意匠とそれに対応する援助を周知するようにもっと啓蒙していくべきだ。

私もそうですが知りませんでした。もっと市民に広報し広く知ってもらうべきである。

ヘルプマークについてこんなに種類があることを知らなかった。もっと広まったら手助けになれると思った。

もっと広報すべき。

もっともっと認知度があがって、誰でも素早くすべき行動がとれるような社会になると良いなと思えます。

つけていてもどう手助けをしてよいかわからない。市報わかやまで取り上げて欲しい。

普及が必要

ヘルプマークがあること、その意味を知らない人の方が多いと思う。所持している人が主に集まる場所(福祉イベント、公共施設)にはポスター等あつたりするけれど、一般の人々が利用するところにはないことが多いので、ポスターを貼る場所、福祉以外のイベントでもチラシを配るとか、周知する方法を考えてほしい。

ヘルプマークの種類が色々ある事を初めて知りました。認知度がなかり低い為、もっと知る機会が必要だと感じます。

私も知らないマークがたくさんあったので、ポスターなどでみなさんにお知らせしたり、子供達にも学校で学習するなどして、皆が知る機会が増えるといいなと思います。

マークとその意味をもっと大々的に布教すればいいと思う。インターネットで知って東京圏でしかやっていないと思っていたし、和歌山で配布しているのを駅のポスターでたまたま見かけただけなので。

見たことも無いマークがあつて残念な気持ちになりました。スーパーマーケットなどへも啓発・案内して欲しいです。

マークが多くなったのは良いことだと思いました。知る機会がほとんどないため、知らない場合の対応に戸惑いそうです。知る機会を増やしてほしいと思いました。

知らないのが多くて驚いた。もっと広く知らせるべき。

もっと一般の人がわかるような方法はないのかなと、いつも思います。経費がかかっても良ければ、講習・保存用プリント配布等。

ヘルプ(注意喚起と協力が必要)と内容(どのような障害をもっているか)を区別した統一デザインの方が分かりやすい。

もっと分かりやすくしてほしい。

標識からでは何か分かりにくいです。

凝りすぎているのは、かえって判りづらいです。シンプルなもので、日本語(あるいは英語で)文字も入れてほしいです。

意味が分かりにくいが多い。

マークを初めてみたが、どんな意味かの推測もできないので、もう少しわかりやすいマークが良いと思います。

種類を少なくしてわかりやすく統一したデザインになればいいです。

種類が多すぎる。

外見からはわかりにくいので、手助け等お互いやりにくいのでこのマークと意味をもっと知ってもらえるように、一步として今夜子供に話したいです。

それぞれのマークは、一定の潜在的な人口と、顕在化が必要な背景あつてのこととは思ふ。しかし、たくさんありすぎて、かえって混乱しないのかと思う。障害の部位や困難別のマークをつくるのも否定はしないが、困った人が声をあげ、外で声を聞いた人は手を差し伸べる社会や、心くばりが広まれば、よほど持続可能な扶助システムだろうにと思う。

細かく細分化されすぎていて、逆にわかりづらくなつていく。助けを求めますというだけのマーク(たとえば青の十字)1本にまとめられないのでしょうか？裏面に細かい症状を記入するなどすれば、プライバシーも守られると思います。

デザインだけで意味も解るのもあれば、そうでないものもありますね！皆がすぐ解れば、ヘルプに対しサポートしやすいかと思いました。

色々な障害者がおられるのは解ります。けれど、マークが多すぎます。もう少し解りやすい方法はないのでしょうか？各種団体が、個々で決めてこれを理解して欲しいとの意味を理解しますが、横方向に話し合いは出来ないのでしょうか？

絵でわかりにくい内容もあるので、もっと意味がわかりやすいほうがいいかなと思う。

色々マークが有りすぎて覚えられないです。車椅子のマークなどはパツと見てすぐわかるのですが、この赤いヘルプマークは図柄から何を表現しているのかが分かりにくいです。わかりにくい。

障害に応じたマークなのでしょうが、種類多すぎてわかりにくい。

一目でおおよその内容までわかればいいのですが、なかなか難しいのでしょうか。

マーク、標識が沢山あり、一目見て分からない事柄がある。サイズを統一、表示方法等改善を。

もう少しわかりやすいマークが良いと思います。援助を必要としている方々に対しての気遣いだとは思いますが、相手に通じなくては意味がないのでは？

見た目で分かるものもあるが、分からないものもある。

色々ありすぎて全て覚えれない。

自分は福祉系大卒なので興味を持っているほうだが、ちょっと多すぎやなとは思ふ。白杖SOSは九州のローカルルールだと思ったが。

カラフルで一目見てわかるものもあれば、知名度なく、ロゴだけではわかりにくいものもある。

マークが多すぎて分からない。どうい障害の人にどういサポートが必要なのか、具体的にわからず、差別しているつもりは無いが関わりを避けるようになってしまう。例えば、聴覚障害者の標章を車に貼っていても、だからなに？という感じになってしまう。

全く知りませんでした。もっと多くの人を知り得るようにしても良いのかな？と思いました。

知られていないことが不思議です。もっと広めるべきだと思います。

まったく知らなかった。周知徹底ができていないのでは？

あまりに知られてない。

自分の無知なことがよくわかりました。知らなければ、手伝いようもない。

知らなかったです。すみません。

恥ずかしながら関心を持ってマークを見ていませんでした。今後は気を付けて対応または関心を持っていきたいと思います。

ヘルプマークを初めて知りました。日常で見ることがなかったので、公共施設でヘルプマークを提示している場所があれば、説明付きで提示して欲しいです。マークを提示されても、手助けしたい気持ちはあるが、どう手助けしたらいいのか？具体的に示してもらわないとなかなか助けにくいように思います。このようなマーク無しでも、助け合えるような社会を作っていきたいです。

ヘルプマークについて、何も知りません。勉強します。

ヘルプマーク初めて知りました。あまり世間では知られていないように思います。

ヘルプマークをほとんど見たことがありません。種類も多く、勉強します。

私自身知らないことばかりでした。

全然知らない自分が恥ずかしくなりました。もっと、公共の場でこういうマークの説明があるといいです。

ヘルプマークという言葉も初めて知り、そしてこんなにあるのだと初めて知りました。見たことがあるというだけで認識不足でした。

見かけた事がない、見たと言う事を聞いた事がありません。使いにくいや、どこで手に入れられるか分からないと言う事かも知れません。

こんなにヘルプマークがあるとは知らなかった。勉強不足ですね。今後きをつけて確認しながら援助できることをしていきます。

初めて知りました。もっと、お知らせしてみんなで理解して、助け合えたら良いですね。

知らないマークが多すぎる。何が原因なのだろう。

つくづくヘルプマークに対しての認識不足を感じました。自分も高齢者に近づきつつ、できるうちに人に思いやりの行動をとるよう心掛けたいと思います。

あまり見かけたことがなかったので、これからは意識を高くもち、手助けしていきたいと思います。今回のアンケートでより高められたのでよかったです。

ヘルプマークは知りませんでした。自分では言い出しにくい場合もあるでしょうから、こういったマークにより周囲に知らせる、という方法は良いと思いました。

今回初めて知りましたし、今後も街中で見かけることがなさそうな…そんな印象を持ちました。でももし見かけたら、その時はフォローできるよう心がけたいです。

あまり解りません。

こんなに種類があるとは知りませんでした。

初めて目にするものも多かった。様々な機会にヘルプマークとそれぞれの意味を紹介するべき。併せてヘルプマークを目にした人が何をすれば良いのかも教えてほしい。

街中でみたこともなく、助けを求められても実際どのように助けてあげるのがベストなのか、私自身不安です。できることはして差し上げたいと思いますが。

改めてヘルプマークを見ると知らないものがあった。

ヘルプマークにたいしての知識がないことに気がついた。このアンケートではじめて知った。

ヘルプマークの種類が多く認識されないのではないのでしょうか？

皆様の認識と理解が広がるように努力して行きます。

あまり関心がなかった。

『自分に関係の無い事には関心が無い』というのは、有りがちです。大人になってからはなかなか触れる機会も少ないかと思ひます。学校の授業、総合学習の時間や、遠足、夏休みの宿題で各自ひとつ、どこにどんなマークがあったか調べて来よう。

気軽に助け、助けられる社会っていいですね。そうあるべきです。

文字で説明するより、ビジュアルで示す方がわかりやすいと思います。

ヘルプマークの認知度は全国的にみてもまだまだ低いと思います。

マタニティマークをつけている人が、配慮を受けるところか嫌がらせを受けることがある、と聞いてとても残念に思っていました。「配慮を強制している」とか「マークをつけている人が得をして自分は損をさせられる」などの誤解や思い込みから、そのような行動をとる人がいるように思います。子どもの頃からマークの正しい意味を知っていれば、大人になってからも、変な誤解をしたり勝手な思い込みをしたりすることもなくなるのではないのでしょうか。できれば幼稚園や保育所(園)、小学校低学年のうちに、マークの意味とともに、様々な配慮を必要とする人がいることについて学ぶ機会を設けていただきたいと思います。

アンケートを機会にヘルプマークがどういった意味を持つのか知りたくなった。啓発したい事項はアンケートにすれば存在を知るいいきっかけになる。

マークと一緒に、マークの内容の記載もしてほしい。

「心臓に電気ショックを与える器具が有る」マークは時々見かけ、緊急時には良い事だと思いますが、上記マークは、だから何なんだって言う感じですね！

いろいろのヘルプマークがあるのですね。再認識しました。わかりやすい場所にすべて掲示して、説明などもあれば良いですね。

色んなマークを複数使うより、ひとつに絞って、そのマークの掲示があれば、健常者はお手伝いをするというように単純なものにすれば良いのにと。何だか色んな種類のマークに触れる度、その後ろにある社団法人などが官僚の天下り先になっているのかな？と想像してしまうので。複数なくても良いのでは？と思う。

知らないマークが多かったのにビックリしました。

目に見えない障害者や妊婦さんが多いのでたくさんの人にこのマークと意味を知って貰いたいです。そんな方が困ってる時にもヘルプマークがあるだけで声もかけやすいと思う。

見かけたことはないが、みかけて相手が困ってそうならばできることはしたいと思っています。ただこんなご時世では声をかけることも本当にいいのかどうか迷ってしまいます。

どこでこのマークを買えるのかわからない。

マーク交付の基準が曖昧なので悪用される懸念を持っている。

和歌山では自動車移動が多く、なかなか見る機会がなかったりします。公共の建物の入り口などに各マークの説明等があれば見る機会が増えると思います。

普及していないのは、市役所の職員もわかっていないはず。アンケートを取る前に、和歌山市の取組内容をお聞きしたい。せっかく良い物を作成しても、それで終わりではなく、困っている人が住み良い和歌山になるよう、もっと真剣に普及に取り組んでいただきたい。親にいただきましたが、何の役にも立たないから使用をやめました。

分かりやすく良いと思います。

私が気づいてないだけなのかも知れませんが、私の行動範囲ではあまり見かけないです。

もっと知ってもらって積極的に理解できる環境になってほしいです。

知らないマークが多いのに驚きました。

もう少し大きいサイズでできませんか？

新聞やテレビでは良く見かけますが、実際、街中ではあまりみかけないのですが。

何に反映できるの？

ヘルプマークを見たらどうしたらいいのかわかりません。どういう手助けが必要なんでしょうか。もっと分かるようにしてほしいです。

持ってる人を見たことがない。市議会議員のブログ記事で知った。

今回のアンケートで、日常において自分に直接関わっていないことに対する無知を実感しました。すべての人がこのようなマークを知り、助け合う社会にしていければいいなと思います。

車の初心者マークのように誰もが知っているマークになればいいと思う。

和歌山県も導入していただき感謝します。一部の新聞で紹介されたものの、普及活動がなく一般市民に認知されていない実情が残念です。病院や各種の患者団体と協力し、コストをかけずに普及活動を推進してほしいです。本アンケートで取り上げていただきありがとうございます。

どの程度補助が必要か、そうでない人からは分かりにくい現実がある。もっと普通(?)の人の理解と知識が進まないといけないかな・・・。

まさしくヘルプマークなので認証表示を正しく常に示して頂きたいと思っています。

学生等は知る機会が学校等であるかも知れないが、社会人は残念ながら日常で知る機会は仕事を通じてしか知る機会が無いので、マーク自体はなんとなくやもしかしてと曖昧な認識がある。内容によりマークを増やすのが良いのか、一般にも広く認識させるためにも少なくした方が良いのかどちらでしょうかね。

大人でも知らないのが沢山あったので、子供たちは道徳の授業とかで習ったらいいと思う。

障害をお持ちの方が、携帯しやすくなりますように。

マークだけでは知らなければ正しい意味が伝わらない。一言メッセージも併用すればいい。

どうしたら貰えるの？

マークと意味をもっと知りたいと思います。

妊婦さんのマークをつけて電車に乗っているだけで、席を譲れというアピールなのかとか、わざとぶつかってこられたというニュースをネットで見たとあります。実際にどうなのかわかりませんが、障害のある方につけたいと思うマークであれば、もっと周知が必要だと思います。そうでなければ、医療関係の方なのかくらいの感じしか受けません。

学校など小さい頃からの、教育も必要かと思います。また、企業での研修なども必要かと思います。

ほとんどの人が知らないと思う。

認知度が低そう。

今後「ヘルプマーク」及び「ヘルプマークの意味」を周知するための広報手段を検討していくうえで、大変参考になりました。

多くのご意見、ご感想をいただき、ありがとうございました。